



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月13日

上場会社名 応用技術株式会社 上場取引所 大
 コード番号 4356 URL <http://www.apptec.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)前原夏樹
 問合せ先責任者 (役職名)コーポレート推進本部管理部長 (氏名)浅野伸浩 (TEL) (06)6373-0440
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	1,176	△4.5	82	△6.7	87	△3.7	84	2.2
23年12月期第2四半期	1,232	△12.8	88	△34.3	90	△33.9	83	△38.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	2,973 84	—
23年12月期第2四半期	2,908 45	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年12月期第2四半期	1,632	71.6	1,168	71.6	71.6
23年12月期	1,417	76.4	1,083	76.4	76.4

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 1,168百万円 23年12月期 1,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0 00	—	0 00	0 00
24年12月期	—	0 00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	4.6	75	145.2	78	120.5	73	157.3	2,556 56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年12月期 2 Q	28,584株	23年12月期	28,584株
-------------	---------	---------	---------

② 期末自己株式数

24年12月期 2 Q	30株	23年12月期	30株
-------------	-----	---------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年12月期 2 Q	28,554株	23年12月期 2 Q	28,554株
-------------	---------	-------------	---------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成24年1月1日から平成24年6月30日まで)における我が国経済は、東日本大震災の影響から緩やかに持ち直す動きが見られましたが、欧州の政府債務問題への不安が根強く残り総じて停滞気味に推移しました。また、アジア経済も欧州向けの輸出が減少したことなどにより減速傾向となりました。

情報サービス業界におきましては、一部の顧客のIT投資に前向きな姿勢が見られましたが、受注時の技術面・価格面での競争が激しく、厳しい経営環境で推移しております。

このような状況の下、当社は再生可能エネルギーの普及を支援するソリューションや防災・減災関連解析など社会に役立つ独自のソリューション開発を進めるとともに、プロジェクト管理の強化による利益率の改善に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間においては、ソリューションサービス事業におけるシステム開発プロジェクトが好調な引き合いを背景に底堅く推移していること、エンジニアリングサービス事業も前事業年度から取り組んでいるコスト削減の施策が効果を上げていることから、当第2四半期累計期間の売上高は1,176,661千円(前年同期比4.5%減)と若干減少したものの、営業利益は82,552千円(前年同期比6.7%減)、経常利益は87,034千円(前年同期比3.7%減)、四半期純利益は84,915千円(前年同期比2.2%増)と、四半期純利益では前年同期とほぼ同じ水準を維持しました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

・ソリューションサービス事業

製造業向けソリューションサービスの受注は堅調であり、業務の効率化を支援する自社ソリューションや住宅向けの設計積算及び構造判定システム、GIS事業も概ね順調に推移しました。また、住宅向け太陽光パネル見積・積算システムの受注も順調に拡大しており、メガソーラー用システムへの展開を実施しております。

当事業年度より販売を開始したアフターサービス向けCRM(製品名:Field Planner)もアフターサービス充実の流れもあり、順調に立ち上がっております。

今後は、新たなソリューションであるWebレイアウトシステムによる住宅設備や住宅向け営業支援の早期案件獲得に注力し、更なる事業拡大を目指しております。

また、新たな試みとしてデータマイニング技術を利用した新規分野(ネットパトロール業務の省力化等)への事業展開の検討を開始しております。

当第2四半期累計期間の売上高は607,656千円(前年同期比2.7%増)となりましたが、人員増によるコスト増加や新製品開発に伴う先行投資負担及び大型案件の受注遅れ等により営業利益は91,656千円(前年同期比21.0%減)となりました。

・エンジニアリングサービス事業

東日本大震災や台風災害の復旧・復興需要に関連する地盤・構造解析及び津波解析業務や民間向け環境アセスメント業務、大店立地法コンサルタント業務の受注が順調に推移しました。

今後は、市場の拡大が見込まれるインフラセットマネジメント事業への取り組みとして、点検モバイルソリューション、CIMコンサルタント、施設長寿命化策定業務等にも注力して参ります。

当第2四半期累計期間の売上高は569,005千円(前年同期比11.2%減)と減少しましたが、空間情報関連業務の実施体制の見直しやコスト削減の取り組みにより営業利益は108,190千円(前年同期比13.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第2四半期会計期間末の総資産は、1,632,176千円となり前事業年度末と比較し214,972千円増加しました。これは主に、たな卸資産が99,105千円減少したものの、現金及び預金が321,176千円増加したためであります。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末の負債は、463,503千円となり前事業年度末と比較し129,747千円増加しました。これは主に、受注損失引当金が11,498千円減少したものの、前受金が70,906千円増加及び未払賞与を計上したことにより、その他流動負債が65,571千円増加したためであります。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末の純資産は、四半期純利益を84,915千円計上したことにより、前事業年度末から85,224千円増加し、1,168,673千円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年2月13日に「平成23年12月期 決算短信」で公表いたしました業績予想を修正しております。修正の内容につきましては、平成24年8月8日付で別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	687,498	1,008,675
受取手形及び売掛金	213,624	215,210
商品	770	2,426
仕掛品	334,684	233,903
貯蔵品	1,459	1,479
前払費用	67,589	59,508
その他	6,029	3,304
貸倒引当金	△2,994	△2,405
流動資産合計	1,308,662	1,522,101
固定資産		
有形固定資産	27,552	29,531
無形固定資産	10,972	9,798
投資その他の資産		
差入保証金	62,372	61,919
その他	25,898	25,145
貸倒引当金	△18,253	△16,319
投資その他の資産合計	70,017	70,744
固定資産合計	108,541	110,074
資産合計	1,417,204	1,632,176
負債の部		
流動負債		
買掛金	67,212	74,258
未払法人税等	6,697	5,219
前受金	105,862	176,769
賞与引当金	16,181	15,200
受注損失引当金	19,922	8,423
その他	102,535	168,106
流動負債合計	318,411	447,978
固定負債		
長期末払金	2,732	2,732
資産除去債務	10,264	10,368
繰延税金負債	2,346	2,423
固定負債合計	15,344	15,525
負債合計	333,755	463,503

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	391,755	391,755
利益剰余金	94,816	179,731
自己株式	△3,033	△3,033
株主資本合計	1,083,538	1,168,453
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△89	219
評価・換算差額等合計	△89	219
純資産合計	1,083,448	1,168,673
負債純資産合計	1,417,204	1,632,176

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,232,049	1,176,661
売上原価	903,116	874,017
売上総利益	328,932	302,644
販売費及び一般管理費	240,479	220,091
営業利益	88,453	82,552
営業外収益		
受取利息	1,904	1,880
貸倒引当金戻入額	—	2,522
その他	59	78
営業外収益合計	1,963	4,482
経常利益	90,417	87,034
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,205	—
特別利益合計	1,205	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,321	—
リース解約損	—	273
特別損失合計	3,321	273
税引前四半期純利益	88,300	86,760
法人税、住民税及び事業税	2,560	1,890
法人税等調整額	2,692	△44
法人税等合計	5,252	1,845
四半期純利益	83,047	84,915

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	88,300	86,760
減価償却費	5,026	6,333
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,205	△2,522
賞与引当金の増減額(△は減少)	106	△981
受取利息及び受取配当金	△1,904	△1,880
売上債権の増減額(△は増加)	605	△1,586
たな卸資産の増減額(△は増加)	77,500	99,105
仕入債務の増減額(△は減少)	10,325	7,046
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,923	11,488
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,321	—
その他	69,777	130,855
小計	238,932	334,619
利息及び配当金の受取額	1,904	1,880
法人税等の支払額	△5,111	△3,729
営業活動によるキャッシュ・フロー	235,725	332,770
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,925	△5,804
無形固定資産の取得による支出	△1,181	△5,900
その他	429	111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,677	△11,593
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	228,047	321,176
現金及び現金同等物の期首残高	750,648	687,498
現金及び現金同等物の四半期末残高	978,696	1,008,675

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期損益計 算書計上額 (注2)
	ソリューション サービス事業	エンジニアリング サービス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	591,465	640,583	1,232,049	—	1,232,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	591,465	640,583	1,232,049	—	1,232,049
セグメント利益	116,088	95,693	211,781	△123,328	88,453

(注) 1 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社費用であり、主に本社管理部門の一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期損益計 算書計上額 (注2)
	ソリューション サービス事業	エンジニアリング サービス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	607,656	569,005	1,176,661	—	1,176,661
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	607,656	569,005	1,176,661	—	1,176,661
セグメント利益	91,656	108,190	199,846	△117,294	82,552

(注) 1 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社費用であり、主に本社管理部門の一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。